

令和4年度 決算

令和4年度の決算が9月議会で審議され認定されました。
 決算は、市民の皆さんから納められた貴重な税金などが、どのように使われたのかを示すもので、まちづくりの記録でもあります。
 一般会計を中心に、概要をお知らせします。
 財政課 ☎ (93) 1115
 市公式ホームページ (令和4年度決算)



一般会計

市税が3年ぶりに66億円台に ※前年度64億3,003万円

一般会計とは、教育・福祉・土木など、市の基本的な経費を計上する会計のことです。
 大規模な臨時的事業として、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策による価格高騰緊急支援給付金支給事業などを実施しましたが、令和3年度歳出総額より減少しました。

市民1人
 当たり決算額
37万円

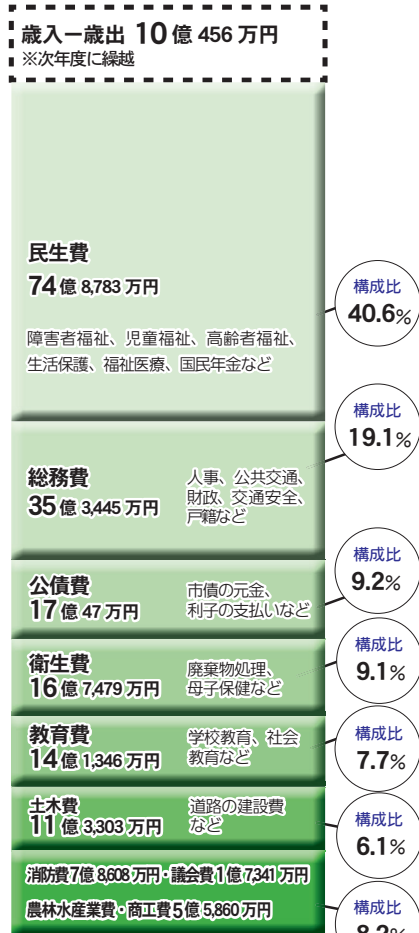
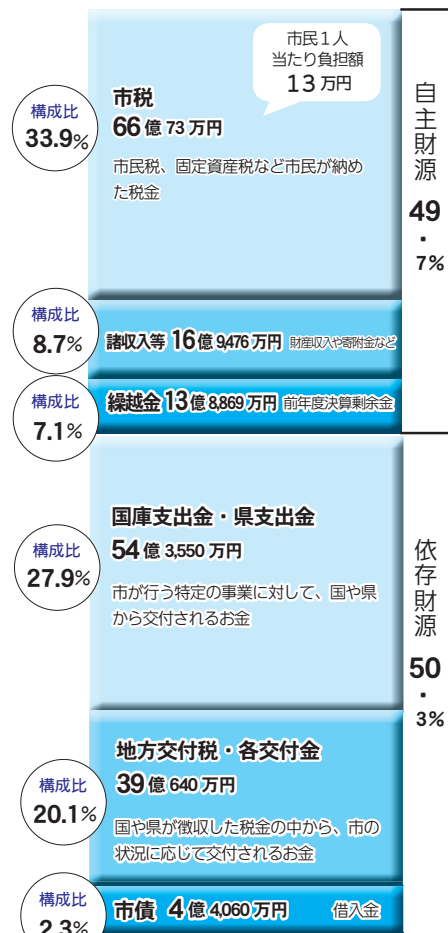
歳入総額 194億6,668万円

前年度比11億9,164万円減(5.8%減)

歳出総額 184億6,212万円

前年度比8億751万円減(4.2%減)

歳入-歳出 10億456万円
 ※次年度に繰越



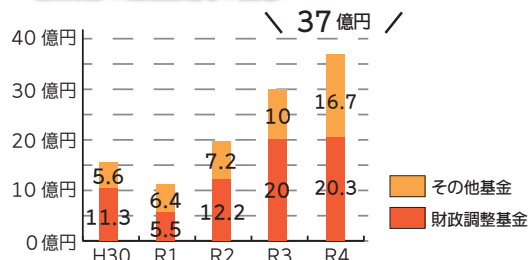
※各項目ごとに端数調整をしているため、合計が一致しないところがあります。令和5年9月30日時点の人口を基に算出しています。

資産

一般会計の基金残高(貯金)は**増加**
 公有財産の「土地」・「有価証券及び出資による権利」も**増加**

基金は、年度間の財源の変動に備えて積み立てており、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた際に活用する財政調整基金と、特定の目的のために活用する目的基金があります。
 公有財産は市が所有している土地や車両などのことを指します。

一般会計の基金残高の推移



公有財産の状況

区分	令和4年度末現在高
土地	137万9,321㎡ (前年度136万7,534㎡)
建物	12万2,800㎡ (前年度12万2,077㎡)
有価証券及び出資による権利	19億1,873万8千円 (前年度19億1,395万8千円)
物品(車両など) ※重要物品のみ	297点 (前年度283点)

特別会計

3つの特別会計はいずれも**赤字なし**

特別会計とは、特定の歳入を特定の歳出に充てるため、一般会計と区別が必要な事業の会計のことです。



国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
加入者が保険税を出し合い、病気やケガをしても軽い負担で治療を受けられる保険制度	65歳以上または40～64歳の特定疾病患者のうち介護が必要になった人を社会全体で支える仕組み	75歳以上の方々の医療費を社会全体で支える医療制度
歳入 59億8,161万円 → 歳出 58億9,646万円 差引 8,515万円	歳入 31億986万円 → 歳出 30億6,205万円 差引 4,781万円	歳入 5億7,886万円 → 歳出 5億7,771万円 差引 115万円

※各項目ごとに端数調整をしているため、合計が一致しないところがあります。

公益企業会計

いずれも**収益的収支は黒字**

公益企業会計とは、利用料金などの収益で運営している会計のことです。なお、資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金(※)などで補てんしました。

※収益的収支における費用のうち、現金の支出を伴わない費用の計上により留保される資金(減価償却費など)の合計額

水道事業	下水道事業
【主な整備内容】 安全な水道水の安定的な供給のため、施設・水道管路の更新工事を実施。	【主な整備内容】 安定した下水処理を行うため、老朽化した下水道管路の工事を実施。
【収益的収支】 歳入 9億3,137万円 → 歳出 9億1,629万円 差引 1,508万円	【収益的収支】 歳入 9億5,901万円 → 歳出 8億4,586万円 差引 1億1,315万円
【資本的収支】 歳入 1億2,000万円 → 歳出 3億4,533万円 差引 -2億2,533万円	【資本的収支】 歳入 1億4,883万円 → 歳出 3億1,777万円 差引 -1億6,894万円
給水人口 3万9千人 普及率 80.7%	処理区域人口 3万3千人 普及率 67.1%
【企業債未償還残高】 14億8,419万円	【企業債未償還残高】 16億6,002万円

※各項目ごとに端数調整をしているため、合計が一致しないところがあります。公営企業会計には、消費税を含めていません。